

国際協力のお祭り「ワン・ワールド・フェスティバル」を開催します！

公益財団法人大阪国際交流センターが参画しているワン・ワールド・フェスティバル実行委員会では、市民に国際協力に対する理解を深めていただくことを目的に、平成 27 年 2 月 7 日(土)、8 日(日)の両日、今年度は開催地を新たに、関テレ扇町スクエア(1 階 アトリウム、3 階 メビック扇町)・北区民センター・扇町公園を会場に、「ワン・ワールド・フェスティバル」を開催します。

1993 年より開催されたワン・ワールド・フェスティバルは今年度で 22 回目を迎えることとなりました。国際協力をキーワードに、各国のステージプログラム、トークセッション、活動紹介、フードなどが一堂に会します。地球課題の問題を考えるワークショップや、社会的課題を取り扱った映画上映をいたします。また、異文化理解を深めるための民族舞踊のステージや民族料理模擬店など 2 日間にわたり、「新しい場所で、出会い・ふれあい・学びあい。」をコンセプトにさまざまなプログラムを実施します。

入場は無料、申込は不要です。取材を希望される記者の方は、受付までお越しください。

- 1 開催日時 平成 27 年 2 月 7 日(土)・8 日(日) 10:00~17:00
- 2 開催場所 関テレ扇町スクエア(1 階 アトリウム、3 階 メビック扇町)・北区民センター・扇町公園
(関テレ扇町スクエア：大阪市北区扇町 2-1-7、
北区民センター：大阪市北区扇町 2-1-27、扇町公園：大阪市北区扇町 1 丁目)
最寄駅＝大阪市営地下鉄堺筋線「扇町」、JR 大阪環状線「天満」駅
- 3 主催 ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会
(構成団体 (公社)アジア協会アジア友の会、(一財)アジア・太平洋人権情報センター、(公財)オイスカ 関西支部、(公財)大阪国際交流センター、(公財)大阪府国際交流財団、(公財)大阪 YMCA、(公財)大阪 YWCA、関西テレビ、大阪市北区役所、(一財)大阪市教育振興公社 キッズプラザ大阪、(公財)大阪市都市型産業振興センタークリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町、(独)国際協力機構 関西国際センター、SPEC、(特非)地球環境デザイン研究所 ecotone、なんとかしなきゃ!プロジェクト、(一財)日本国際飢餓対策機構、フェアトレード・サマサマ、(一社)南太平洋協会、(特非)関西国際交流団体協議会：事務局)

<問い合わせ>

ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会事務局
〒540-0026 大阪市中央区本町 1-4-12 pia NPO 2 階
TEL 06-6944-0407 FAX 06-6944-0408
E-mail: onefes@interpeople.or.jp
<http://www.interpeople.or.jp/owf/>

公益財団法人 大阪国際交流センター
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 8-2-6
電話: 06-6773-8989 ファックス: 06-6773-8421
URL: <http://www.ih-osaka.or.jp/>

プログラム内容・スケジュール（予定）

※日時等は変更になる場合があります。詳細はホームページ(<http://www.interpeople.or.jp/owf/>)をご覧ください。

●2月7日(土)、8(日)の両日実施するもの

【ワールド・ビレッジ】

関西を中心に NGO/NPO、政府機関、国際機関、教育機関、自治体、企業など約 150 ブースが出演します。その数は西日本最大級。活動紹介の展示やフェアトレードショップなどがずらりと軒を連ねます。

【民族ミュージック&ダンス】

ステージはアフリカンミュージック、バリ舞踊、インド舞踊、タイ舞踏、ネパールダンス、タヒチアンダンス、アンデスソングなど色とりどりの文化に彩られます。音楽や踊りだけでなく、打楽器のセッションにも参加できます。

■KIDS リズム☆セッション ～世界のパーカッションを鳴らそう！～

アフリカのジェンベや中南米のコンガ、カホンなど世界の打楽器を使い、会場にいる人々、誰にでもできるシンプルで楽しい即興のリズムセッションを行います。大人も子どもも一緒に参加できます。

出演：キッズブラザ大阪 & まこっちゃん (from バチコンドー)

【ワークショップ】

■世界の民族衣装 着付け体験

世界の民族衣装の着付け体験ができます。民族衣装を着て、ワン・ワールド・フェスティバル会場内をまわられます。

■楽しい環境体験コーナー

廃材や自然素材を利用してアクセサリを作ったり、エネルギー実験教室など楽しい環境体験が盛りだくさん。あっといふ間に、あなたも環境にやさしい”生活スタイル”が身に付きます。

■ワン・ワールド織り

スマトラ島沖地震の復興を目指し始まったタイでのさをり織り。その織り体験ができます。よこ糸を通していくためのたて糸は、外国人によってつくられたもの。1枚をみんなで織り上げていきます。織物の様子はスマートフォンで撮影+印刷して、1枚は織物に取りつけ、もう1枚はプレゼントします。

■茶会へようこそ

日本、韓国のお茶会で、伝統文化を体験しながら、暮らしを考えてみましょう。そこには、持続可能な社会を作り上げていくための、心構えや知恵がたくさん詰まっています。まずは、あなたが気づくところから。

【フクスサポ】

「あなたの服で世界をサポート」しましょう！ワン・ワールド・フェスティバル会場に、あなたの不要になった衣料・クツ・カバン・服飾雑貨を持ってきてください。その衣料があなたからの寄付金となるだけでなく、国や地域を超えて有効利用されます。

【みんなのキッチン】

トルコのケバブ、アラブのホブズ(パン)、インドのタンドリー、スリランカのコキス(米粉の揚菓子)、フィリピンのソータンホン(春雨スープ)、韓国のチヂミ、モンゴルのホルホグ(羊肉蒸し焼き)、ベトナムのフォーなどなど！約20店が出店。定番メニューからめずらしい料理まで、ぜひご賞味ください。

■リユース食器

ワン・ワールド・フェスティバルでは環境配慮の一環として、リユース食器を導入しています。マイ食器も歓迎です。

●2月7日(土)、8(日)のいずれかで実施するもの

【トークセッション】

■「ポスト2015 新たな国際協力とは何か」(仮)

2015年は国連 MDGs の最終年です。ポスト2015もふまえた日本の国際協力の現状とこれからについて、楽しく考えます。【2/7(土) 13:00~14:30】

■FNS チャリティキャンペーン

森本さやかアナウンサーのフィリピン現地報告

関西テレビはじめフジテレビ系列全国 28 社が「世界の子供たちに笑顔を」をテーマに日本ユニセフ協会とともに取り組む国際協力キャンペーン。41 回目の今年度はフィリピンを支援。この春に現地取材を行った森本アナによる講演を行います。【2/7(土) 15:00～17:00】

■プレゼンテーション大会 - 企業 CSR・NGO/NPO × クリエイター

企業 CSR・NGO/NPO とメビック扇町に関係するクリエイターが互いに活動を紹介するプレゼンテーション大会を行います。【2/7(土) 14:00～17:00】

■関西人！世界に飛び出す

国際協力レポーターと JICA ボランティアをご存知ですか？JICA が毎年参加者を募集しているプログラムです。対象年齢は 18～69 歳まで。体験談を聞いて、ぜひあなたも世界に一步踏み出してみませんか。

【2/8(日) 10:00～12:00】

■なんとかしなきゃ！プロジェクトステージ

なんとかしなきゃ！プロジェクト著名人メンバーから途上国の様子や現地の人々の暮らしや、そこで活動する日本人や現地の人たちの様子を分かりやすく報告します。【2/7(土) 11:30～12:30】

【セミナー】

■マイクロファイナンスの実践

貧しい人々に担保なしにお金を融資し、その小さな「事業」を支援する「マイクロファイナンス(MF)」。発展途上国での貧困削減には大変有効です。今回 MF 実施団体の先駆的事例紹介を通して、市民参加の道を探ります。

【2/7(土) 15:00～17:00】

■対話型ファシリテーション超入門

活動現場が生んだ、ホントの課題が見つかる対話術

「ミーティングをしても、なぜかいつも議論が上滑りして、納得いく結論が出ない」「友達、家族、出会ったあの人の悩み、聞いてあげるだけで、その先に進めない」そんな経験がありませんか。そんな方におすすめの、今日から使える対話方法をお教えします。【2/7(土) 10:00～12:00】

■外国につながるのある子どもたちの「居場所」づくり

日本で暮らす外国につながるのある子どもたち。言葉・制度・文化の違いの中で懸命に生きています。彼らが抱える課題とその支援について、3 つの事例から考えましょう。【2/8(日) 15:00～17:00】

【ワークショップ】

■「心においしいチョコ」のためにできること

チョコレートの原料、カカオ。カカオの実はだれがどうやって育てているのでしょうか？チョコのふるさとを訪ね、日常を知ることから、私たちの心においしいチョコを考えます。バレンタイン間近、会場ではチョコレートの販売もあります。

【2/7(土) 11:00～12:30】

■炭焼きマイスターになって太平洋の人々とつながろう！

太平洋島しょ国に製炭技術を伝える活動をしています。そこで用いている誰でも作れる炭窯、松村式改良型ドラム缶と防災の備蓄燃料の作り方を教えます。【2/7(土) 13:30～14:30】

【ESD (Education for Sustainable Development)】

■考えよう「これからの ESD」～世界会議参加校の学び～

『ユネスコ協会 ESD パスポート』高校生の発表会 & ワークショップ

■これからの ESD に向けて、高校生の発表とワークショップ

「ESD(持続可能な開発のための教育)の 10 年」最終年の世界会議に参加した高校生からの成果発表、ESD パスポートのボランティアを通じて社会課題に向き合ってきた大阪の中高生の学びの発表とワークショップを実施します。

【2/7(土) 12:00～13:30、2/8(日) 10:00～12:00】

参考

- ・ 開催主旨 ワン・ワールド・フェスティバルは、環境破壊、難民、貧困など世界中で起きているさまざまな問題を解決するための国際協力の大切さを認識し、多様な団体や企業の活動を通して国際協力の現状を知ることが主な目的として 1993 年より開催し、今回で 22 回を数える西日本で最も規模の大きな国際協力のお祭りです。
 「共に生きる世界をつくるために一人ひとりができること」をテーマに、関西を中心に国際協力を携わっている NGO、ODA 機関、国際機関、教育機関、自治体、企業などが協力して、毎年、約 150 団体が参加、約 70 のプログラムが生まれ、約 17,500 人にご来場（2013 年度は 15,000 人）いただいております。国際協力が私たちの生活と密接に関係していることを知り、一人ひとりが問題解決のために何ができるのかを考え、日頃の行動につなげることへのきっかけづくりの場として開催しています。

- ・ 事業の特色
 - (1) 国際協力を携わる関西一円の主要な NGO/NPO と、全国から政府機関、国際機関、高等教育機関、企業（社会貢献担当）など多様な団体・機関が一堂に会し、活動を紹介する関西で最大の国際協力の催しで、昨年は 146 団体が参加しています。
 - (2) 実行委員会は、NGO/NPO、ODA 機関、国際交流協会、教育機関、企業など多様な団体、機関が主体的に参加され、発案段階から事後処理までのプロセス重視、ネットワーク形成の機会となっています。
 - (3) 一過性のお祭りではなく、日常の活動理念を反映したプログラムを企画し、事後につながる事業として、取り組んでいます。
 - (4) ボランティアの主体的な参加と活躍により成り立っています。フェスティバルの企画・運営は公募のボランティアと実行委員会が担当することとなりますが、例年約 200 人のボランティアに参加いただいております。20 代の若者や社会人に加え外国人留学生、シニア層が多いことも本事業の特徴です。
 - (5) 「協働」の取り組みであり、他分野の団体間、NGO/NPO と ODA 機関、企業、教育機関などが連携して事業に参加します。
 - (6) 多様な市民の方が積極的に参加されます。会場に来る市民は「ボランティア活動に関心がある」「国際協力に参加したい」「国際理解教育の情報がほしい」「外国文化にふれたい」など、何らかの関心や目的を持って来る人が多く、会場に 1 日中いる人もたくさんおられます。主催者側もそうした市民の関心に対応するため、「見る」「聞く」「味わう」「考える」「話し合う」「体験する」といったことを行うことのできるプログラムを実施します。